

平成 26 年度第 1 回（129 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 26 年 7 月 24 日午後 1 時 30 分から

場 所：市役所 4 階第 2 委員会室

出席者：菊谷隆、吉岡袈裟喜、山本強、鬼澤義信、林光夫、柴田正子、川原寿春、山下文夫、白井航也、小寺茂、渡辺正宏、芹澤正男、内田貞司、今間洋一、大槻義顯、大津里美

市 長：渋谷金太郎

事務局（企画部長、企画課長、市民協働係長、企画課主任）

欠席者：長谷部勝也、竹森菜摘、車崎祥子、法性由紀枝

<配布資料>

- 1 平成 26 年度第 1 回（第 129 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 清瀬市まちづくり基本条例
- 3 清瀬市まちづくり基本条例施行規則
- 4 平成 26 年度清瀬市まちづくり委員会委員名簿
- 5 まちづくり提案一覧
- 6 これまでの提言一覧
- 7 平成 15 年度～25 年度 市民提案、市民への回答並びに提言

1 開会

2 市長挨拶

市 長：結核関連の雑誌に、清瀬の事が取り上げられた。また、市長への手紙で先日行われた未来カフェの手紙について参加された方よりお褒めの言葉を頂いた。昨年度は「清瀬の行政・医療・歴史・文化・産業を案

内する清瀬市魅力情報発信基地（仮称：清瀬市情報センター）を設置すること」及び「清瀬ガイドマップの発行・配布を！一見える清瀬・住みやすい清瀬を目指して一」の二つの提言を頂いた。清瀬市は魅力が多くあるので、色々な意見を貰いながら話し合っていきたい。

### **3 委嘱状交付**

### **4 自己紹介**

### **5 委員長を選任**

委員互選により菊谷委員が委員長に選任

### **6 副委員長を選任**

委員互選により白井委員、大津委員が副委員長に選任

### **7 まちづくり基本条例の説明**

事務局よりまちづくり基本条例の成り立ちや内容について説明

### **8 過去の報告**

事務局よりこれまでのまちづくり委員会の活動実績について説明

### **9 市民提案**

事務局より今後審議する市民提案1件について説明

委員長：先に今後のまちづくり委員会の開催日程を決めていきたいのであるが、  
昨年は第4週火曜日に行っていたが、今年はどうか。

委員：第4週火曜日は都合が悪い。

委員長：では第3週火曜日はどうか。

<委員了承>

委員：まちづくり委員会の意味を教えて欲しい。

事務局：市民よりあがった提案について回答する。市長へ提言として上げる場合と、市民への回答という場合がある。市長へ提言した場合は最大限実現に結びつける。

委員：提案を審議する際の資料で必要となる具体的な数字については出してもらえるのか。

事務局：出来る限り出す予定である。

委員：今回の提案であるが、せっかく出してもらっているが、市長が今結核研究所については様々掲げている。同じ内容をまちづくり委員会で話し合うのか。

事務局：市長と重なる点もあるが、まちづくり委員会はまちづくり委員会としてこの提案について話し合ってもらいたい。

委員：市長の話は色々外に伝わっているが、市としてバックアップする考えはあるのか。

委員：この提案は市長の話と合致するが、清瀬市として財政の面で難しいと思う。どの程度の規模の資料館なのかを考える必要があり、清瀬市として難しいと思う。

委員：結核の歴史を予算の有無に関わらず、残していくことが必要であると思う。

委員：提案は良いが、資料館が市立なのか、都や国立なのか、また土地の問題もある。働きかけるのは良いが、会議としては提案に対して、予算や場所の資料を出して会議を行うべきである。

委員：まちづくり委員会は市民から市へ働きかける会議である。予算や費用が関わってくると選択の幅が狭くなってしまうので、審議していく中で実現に向けての案を出し合っていくのが良い。

委員：この提案の審議であるが、資料館を残していく目的を詰めなくてはいけない。

委員：この提案は、市がどのように残すかがポイントである。

委員：この委員会でどのように提言に結び付けるかを考えるべきである。

委員長：外気舎の保存にについて資料を次回準備して欲しい。また結核の資料を開示出来るのかの確認、郷土博物館を設置した費用と維持費も願いたい。

<今年度のスケジュールとして毎月第3火曜日午後2時から行い、次回8月19日、14時より行う。>